

## ●実りの秋の到来

◆(○○○○○) <sup>こうべ</sup>頭を垂れる稲穂かな

英訳では「The boughs that bear most ( ) lowest.」

それぞれの空欄を埋めてみましょう。周りの人と情報交換してみてください。

## ◆「努力する」人は「希望」を語り、「怠ける」人は「不満」を語る。

これは、毎日記入している「学習の記録」の表紙にある言葉ですね。これは、作家井上靖さんの言葉のようですが、今あらためてこの言葉を噛みしめてみましょう。もう一度「謙虚」に「努力する」人、そして「希望」を語る人であるよう努めましょう。

## ◆弱気の「秋風」が吹いてはいませんか。

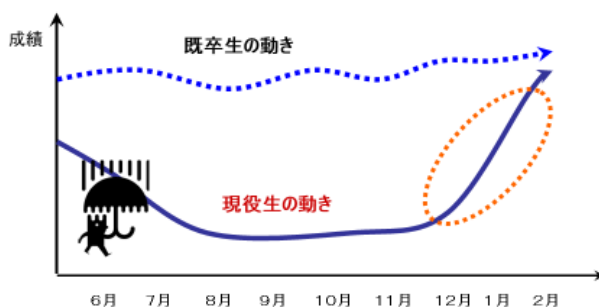
秋の模試で、D、E判定の人がどうして合格するのでしょうか。

DE判定の人が撤退してしまうことがあります。「安心、安全」を指向する受験メンタルは、実は「危ない」メンタルです。「守り」の姿勢は物事の勢いを弱める傾向にあります。がむしゃら果敢に「攻める」者の勢いに最後は競り負けるということは、どの世界にも共通していることです。弱気になるにはまだ早い。「勝たむと思ふな 負けじと思へ（『徒然草』兼好法師）」の精神です。今の皆さんのそれぞれの志望校の土俵から簡単には去ってはいけません。たとえすぐに「勝機」が見いだせなくても、その闘いの「土俵」を自ら去ってはいけません。去れば、相手の「不戦勝」が決まるのです。

## ◆現役生は最後の最後で伸びる。は本当です。そう信じて諦めない人が伸びる。

ということは、今は、ジグザグしている状態とも言えます。「実力」をつけるには、一定の時間がかかります。すぐに出た結果には、逆に疑ってかかるくらいの慎重さが今は必要です。明日、明後日の模試の結果に点数だけみて一喜一憂することは無駄なエネルギー消費です。学習の量や質に十分見合うものであったか、何が足りなかったのかを「冷めた」頭で分析し、すぐに復習にかかりましょう。

現役生はまだまだ伸びる！



## ●第2回考査時間割 9月25日(金)～30日(水) 4日間

|             | 9月25日(金) |                  |                      | 9月28日(月)       |                       |               | 9月29日(火)         |        |                   | 9月30日(水)     |           |           |
|-------------|----------|------------------|----------------------|----------------|-----------------------|---------------|------------------|--------|-------------------|--------------|-----------|-----------|
|             | 1        | 2                | 3                    | 1              | 2                     | 3             | 1                | 2      | 3                 | 1            | 2         |           |
| 理型          | 現代文      | 数Ⅲ・数演習1<br>(90分) |                      | 英語表現<br>リスニング有 | 物理<br>生物              | 日史／地理<br>／世界史 | ン英語目<br>コミュニケーショ | 古<br>典 | 世界<br>史<br>探<br>究 | 化学           | 数学<br>演習2 |           |
| 文型          |          | 生<br>物<br>演<br>習 | 化学<br>演習<br>地学<br>演習 |                | 数学<br>演習<br>B         | 日本史<br>探究     |                  |        |                   | 英語<br>理<br>解 | 政経<br>探究  | 数学<br>演習A |
| 国際 $\alpha$ |          | 英語<br>演習         | 通訳<br>演習             |                | 異<br>文<br>化<br>理<br>解 | 地理<br>探究      |                  |        |                   | 倫理・<br>政経    | 第二<br>外国語 |           |
| 国際 $\beta$  |          |                  |                      |                |                       |               |                  |        |                   |              |           |           |

### ◆第2回考査 全ての教科に全力で取り組む

- ・「受験科目」でないから準備をしないで臨むとか、「定期考査」より実際の「入試問題」ばかりやって「教科書」等の基礎的な内容を疎かにして臨むといった人が残念ながらいます。その人たちは、自分では時間を無駄にせず効率的に学習したつもりなのでしょう。しかし、それは「姑息」というものです。(「姑息」…その場しのぎの意味。近年誤用で、卑怯の意に捉える人が多い語です。)
- ・追い詰められた時、得てしてその人の本性が出てしまうものです。その人の「品位」のようなものが透けて見えてしまう…ということがあります。目先の利益・目的のために「手段」を選ばないと、時に人は「品位」を失ってしまいます。その場のがれの判断、行動を控え、正々堂々と、求められることに対して全力を尽くしてください。
- ・受験は、総合力(体力と耐力)の勝負です。自分を甘やかし、日ごろの「耐力」強化を怠ったツケは、必ず、本番(肝心な時、強烈なプレッシャーがかかった時)に払わされるものです。
- ・今は、あれこれ「愚痴」を言わず「黙々と」「たんと」「ひたむきに」やりましょう。周囲をよく見回してみてください。毎日、いつもと変わらず「平然」として「落ち着いて」取り組んで入る人が必ずいます。本当に強い人、本番で確実に結果を出す人は、大体においてそういう人です。

### ◆群れることなく闘おう。

- ・教え合うことは大切です。しかし、「勉強ごっこ」ではいけません。一人ひとりが、じっと問題と格闘してください。いつまでも「群れ」ていないで、孤独に闘う覚悟を決めましょう。試験の本番は、一人で闘うものだからです。

#### ◆最後に

「impossible(不可能)」なことなど何もない。この言葉自体がそう言っている。

「I'm possible(私にはできる)」と。(女優 オードリー・ヘップバーン)